

～～第8655回～～

大早山（たいかんやま）

～H31.3.30～

駿河湾越しの富士山と桜を眺めながら、土肥の西伊豆歩道を恋人岬から丸山城跡まで歩く。しかし、藤枝の朝空は霞み、東京では満開というのに瀬戸川堤の桜は枯木だ。1月に開通した伊豆縦貫道「大平一下船原」を経て土肥へ向かう。山桜は満開だが、ソメイヨシノの花は少ない。温泉街を通過し、丸山スポーツ公園へ寄る。ここにはイズトイザクラの原種など多種類の桜が植えられている。さらに南下し、小峰バス停でマイクロバスを降りる。道端にナツトウダイが群生する急坂を海側へ下る。土肥は畑ワサビの産地で、水のない畑にワサビが茂っている。バクチノキもある。幹肌が黄赤色でヒメシヤラに似る。樹皮が鱗状に剥がれた幹を「博打で負け丸裸にされた姿」に例える。舗装路が終わり山道の上りになる。ウバメガシが貼り付くように密生する断崖の上を、海岸に沿ってかなりの急登が続く。1時間ほどで大早山へ着く。ウラシマソウが長い釣り糸を垂れている。三角点のみで山頂の標識はない。少し下り観光客で賑わう富士見遊歩道に合流する。ボードウォークを行くと恋人岬だ。ウッドデッキの展望台にラブコールベルとアモーレ像がある。海の向こうの富士山は心眼でしか見えない。観光地を離れ米崎港へ。不動の滝・おかる滝を見て国道136号に出る。国道沿いの最福寺に、平成13年品種登録されたイズサイフクジシダレという八重枝垂れ桜がある。一週間早かったが、数輪咲き始めている。門前の桜を見ながら昼食をとり、住職の案内で勝海舟などの墨跡や囲碁文献が展示された資料館を見学する。国道を北へ進み、駿豆学園バス停を右折、急坂を上ると里山園地だ。入口に薄墨桜二世がある。二世は岐阜から移住して37年、散り際の花が少し残っている。国道に戻って山道に入る。「おこり石」が鎮座し、富士見園地らしいが荒れている。下って国道を横切り丸山城跡へ登る。城跡の桜と記念撮影し、八木沢魚港からバスで龕附天正金鑛へ行く。龕(がん)とは坑道最奥部の金脈を「山の神」として祀るアーチ状に穿たれた祠のこと。龕付きの坑道は全国的に珍しいようだ。杖をついたおじいさんが案内してくれる。最後に金槌とノミを借りて金鉦掘り体験。その固いこと、坑道を手堀した昔日の過酷さを感じる。金鉦石の欠片をお土産に温泉へ。楠の湯共同浴場は超熱。温泉裏手の土肥神社に樹齢千年「平安の大楠」があり、姿よく貫禄充分。近くには同じく樹齢千年「安楽寺のクス」もある。

参加者：13名（藤枝）

天気：曇

地図：土肥

コースタイム：藤枝 600＝小峰バス停 848…大早山(150m)954…恋人岬 1020…最福寺 1130-1235…里山園地 1310…丸山城跡 1345-55…矢木沢魚港 1410＝天正金鑛＝藤枝 1920

記録：藤枝支部 ゆ記

恋人岬のアモレ像と富士山(心眼で見る)

